

信州大学人文学部 令和7年度（2026年3月）卒業生の  
教育目標達成に関する調査結果 報告書

---

（中間報告 令和8年5月27日版）

## — 目次 —

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| 1. 調査概要 . . . . .                    | 2  |
| 2. 卒業生アンケート分析結果 . . . . .            | 4  |
| (1) 所属コース . . . . .                  | 5  |
| (2) 教育目標の達成状況 . . . . .              | 6  |
| (3) 人文学部の教育内容等に関する評価 . . . . .       | 9  |
| (4) 在籍中に経験した国際交流・留学/取得した資格 . . . . . | 12 |
| (5) リモート授業・ICT環境の評価 . . . . .        | 13 |
| 3. 卒業生アンケート総括 . . . . .              | 16 |

# 1.調査概要

## 本報告書について

信州大学人文学部における教育活動を振り返り、次年度以降の教育活動の改善を行う際の参考資料とするため、令和7年度(2026年3月)卒業の人文学部生を対象にアンケートを実施した。

本報告書はこれらアンケートの結果について示すものである。

## 卒業生アンケートについて

調査方法： 令和7年度の信州大学人文学部卒業生を対象に、卒業証書の手交および郵送の機会に調査票を配布し、回収した。

調査期間： 令和8年3月21日～3月31日

回収数： 128件 回収率：91.4% (128人/140人)

調査項目： ・所属コース

- ・人文学部の教育目標に対する達成状況の評価
- ・人文学部の教育内容等に関する評価
- ・人文学部に在籍中に経験した国際交流・留学、取得した資格
- ・人文学部に在籍したことによる進路選択への影響
- ・卒業論文執筆についての感想
- ・人文学部の教育方針・体制・学習環境についての感想
- ・進級・学び・研究室での指導等についての感想
- ・リモート授業の評価と今後の実施回数
- ・人文学部のICT環境の評価

## 分析に関する注意事項について

### ①過去の調査との比較について

昨年度の分析と同様に経年での変化を見るため、必要な項目について本年度を含めた5年間(一部3年間)の調査結果についても記載した。

・過去年度回収数 【R3年度：31件 R4年度：108件 R5年度：123件 R6年度：102件】

### ②所属分野別の分析について

所属分野による回答結果の差を見るため、所属コースを以下の3つのグループに分類し、教育目標の達成状況および人文学部での教育内容等に関する評価についてそれぞれ分析を行った。

| グループ   | 所属コース                                         |
|--------|-----------------------------------------------|
| 哲学芸術系  | 哲学・思想論コース                                     |
| 社会心理学系 | 文化情報論・社会学コース<br>心理学・社会心理学コース                  |
| 語学歴史系  | 歴史学コース<br>比較言語文化コース<br>英米言語文化コース<br>日本言語文化コース |

### ③その他

- ・ 回答結果の割合「%」は、有効回答数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入している。そのため、単数回答であっても合計が100%にならない場合がある。
- ・ 図表内の「n」は Number of case の略で、該当する設問の回答者数を表す。無回答を除いて集計しているため、設問ごとに回答者数が異なる。
- ・ 1人の回答者が2つ以上の回答をすることができる複数回答の設問では、回答数の合計を回答者数（n）で割った比率を示しており、比率の合計は100%を超える。
- ・ 令和7年度の卒業生は主に令和4年度入学と想定される。令和2年4月の新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言から令和5年5月の同感染症の5類感染症への移行までの期間のうち、令和7年度の卒業生（主に令和4年度入学生）の在学期間と重複するのは、1年次の約1年間に相当していると推察される（下図参照）。

《新型コロナウイルス感染症の流行期間(5類感染症への移行まで)と、在学期間》

| 年度<br>入学年度           | 令和元年度 | 令和2年度               | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|----------------------|-------|---------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
|                      |       | 新型コロナウイルス感染症の主な流行期間 |       |       |       |       |       |
| 令和元年度入学<br>(平成31年4月) | 在学期間  |                     |       |       |       |       |       |
| 令和2年度入学              |       | 在学期間                |       |       |       |       |       |
| 令和3年度入学              |       |                     | 在学期間  |       |       |       |       |
| 令和4年度入学              |       |                     |       | 在学期間  |       |       |       |

## 2. 卒業生アンケート分析結果

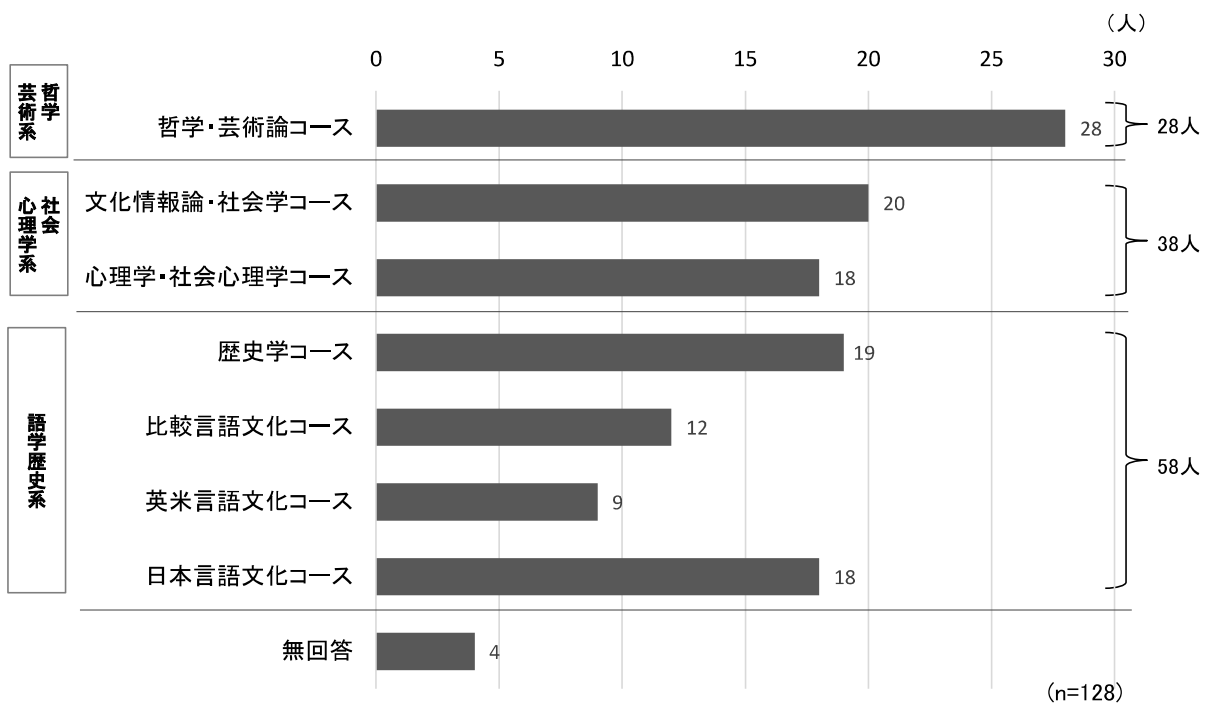
---

## (1) 所属コース

### 所属コース

質問番号1：あなたの所属コースをお答えください。 《単数回答》

- 回答者の所属グループは、「哲学芸術系」が28人、「社会心理学系」が38人、「語学歴史系」は58人となっている。



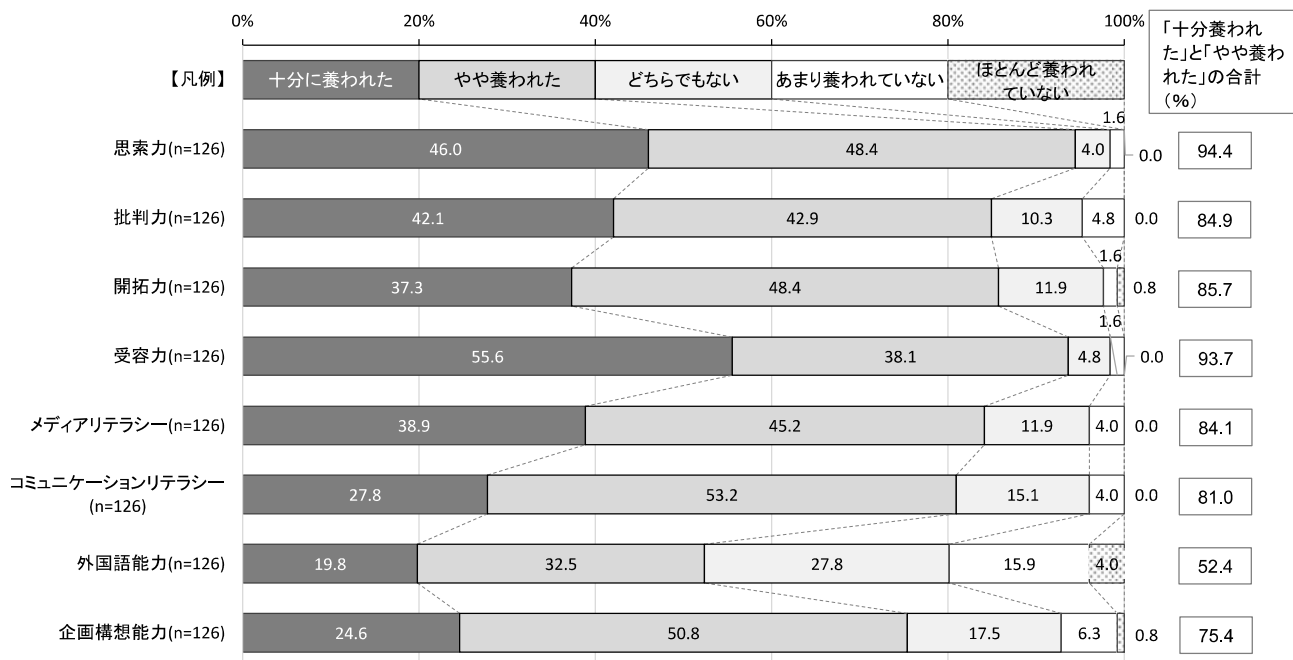
## (2) 教育目標の達成状況

### 教育目標の達成状況

質問番号2：人文学部の教育目標について、人文学部に在籍することで、あなたは、どのくらい養われたと思いますか。

《単数回答》

- 人文学部の教育目標について、「十分に養われた」「やや養われた」を合わせた割合は、「思索力」において94.4%と最も高く、次いで「受容力」が93.7%となっている。一方、「外国語能力」においては、52.4%と最も低くなっている。



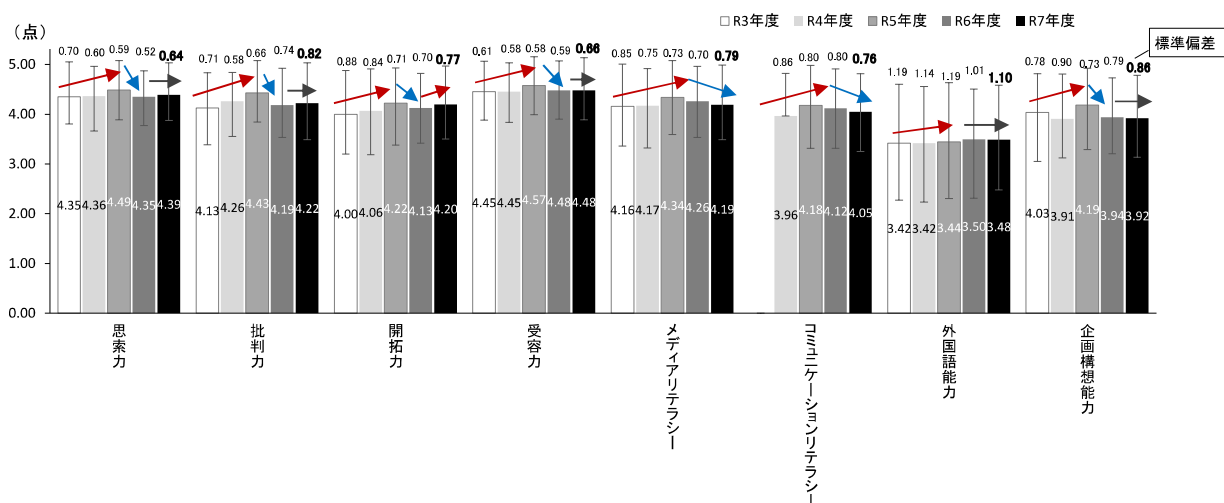
アンケート上の表現との対応

- ・思索力：自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力
- ・批判力：変容する社会を冷静に分析し、時流に迎合することなく価値判断できる批判力
- ・開拓力：過去の英知の批判的継承のうえに立って創造的な未来を切り拓く開拓力
- ・受容力：異質・多様なものを理解し、寛容かつ多角的に判断することができる受容力
- ・メディアリテラシー：情報を適切に集約・分析・表現できる高度なメディアリテラシー
- ・コミュニケーションリテラシー：自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシー
- ・外国語能力：グローバル社会において、多様な文化を理解し自らの文化を発信できる外国語能力
- ・企画構想能力：領域横断的な事柄に対する問題解決能力、および創造的な企画構想能力

## 教育目標の達成状況 《得点化》《過年度比較》

質問番号2：人文学部の教育目標について、人文学部に在籍することで、あなたは、どのくらい養われたと思いますか。  
《単数回答》

- 8項目すべてで上昇傾向が続いた令和5年度までと比較すると、令和6年度から令和7年度にかけて、ほとんどの項目において低下もしくは横ばいになっている。
- 標準偏差については、例年と同様に、「外国語能力」が比較的大きく、「思索力」「受容力」が比較的小さくなっている。



※「十分に養われた」を5点、「やや養われた」を4点、「どちらでもない」を3点、「あまり養われていない」を2点、「ほとんど養われていない」を1点として得点化した。

※R3年度は「コミュニケーションリテラシー」について聞いていないため、得点を示していない。

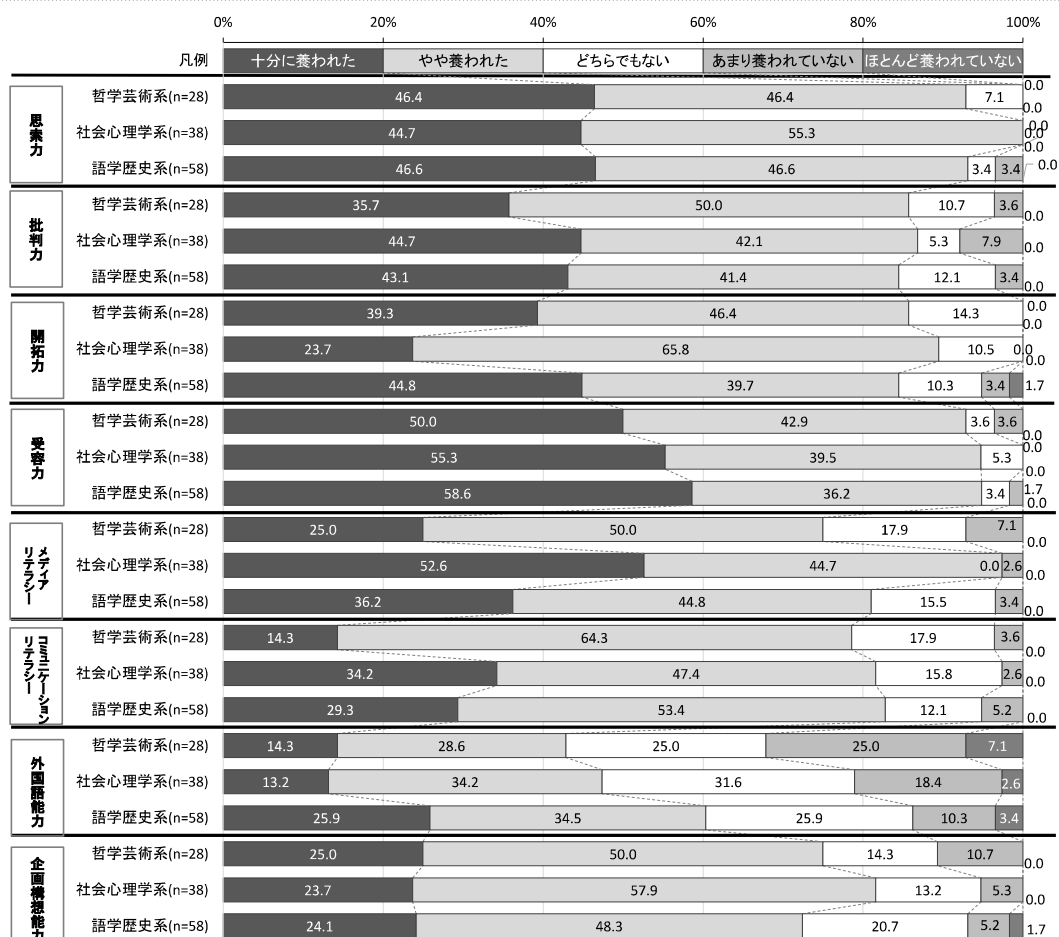


## 所属分野ごとの教育目標の達成状況 《クロス集計》

質問番号1：あなたの所属コースをお答えください。 《単数回答》

質問番号2：人文学部の教育目標について、人文学部に在籍することで、あなたは、どのくらい養われたと思いますか。  
《単数回答》

- 人文学部の教育目標について、「十分に養われた」「やや養われた」の合計の割合が比較的高い「受容力」「思索力」については、所属グループ間での偏りがあまりみられない。
- 哲学芸術系において、「十分に養われた」と回答した割合をグループ同士で比較すると、「メディアリテラシー」「コミュニケーションリテラシー」が低いものの、「やや養われた」の回答も合わせると他グループとの大きな差異は見られない。
- 社会心理学系において、「十分に養われた」と回答した割合をグループ同士で比較すると、特に「メディアリテラシー」の割合が高い。一方、「開拓力」の割合が3グループの中では低くなっているが、「やや養われた」の回答も合わせると他グループとの大きな差異はみられない。また「思索力」「メディアリテラシー」の2項目は、「十分に養われた」「やや養われた」の回答を合わせた割合は、ほぼ100%である。
- 語学歴史系において、「外国語能力」「受容力」における「十分に養われた」と回答した割合が、他のグループと比較すると高い。

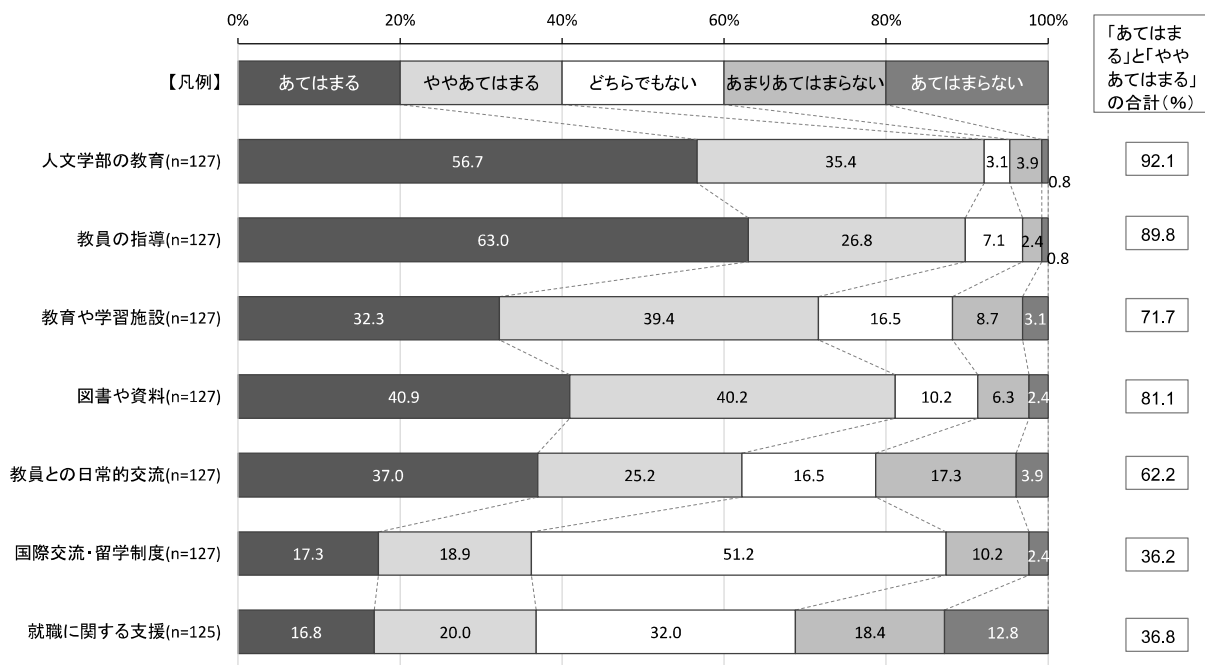


### (3) 人文学部の教育内容等に関する評価

#### 人文学部の教育内容等に関する評価

質問番号3：人文学部の評価に関する以下の項目は、あなた自身にとって、どのくらいあてはまりますか。 《単数回答》

- 人文学部の教育内容等に関する評価に関して、「あてはまる」「ややあてはまる」の割合をみると、「人文学部の教育」が92.1%と最も高く、次いで「教員の指導」が89.8%となっている。一方、「就職に関する支援」は36.8%、「国際交流・留学制度」が36.2%と他の項目と比較して低い。



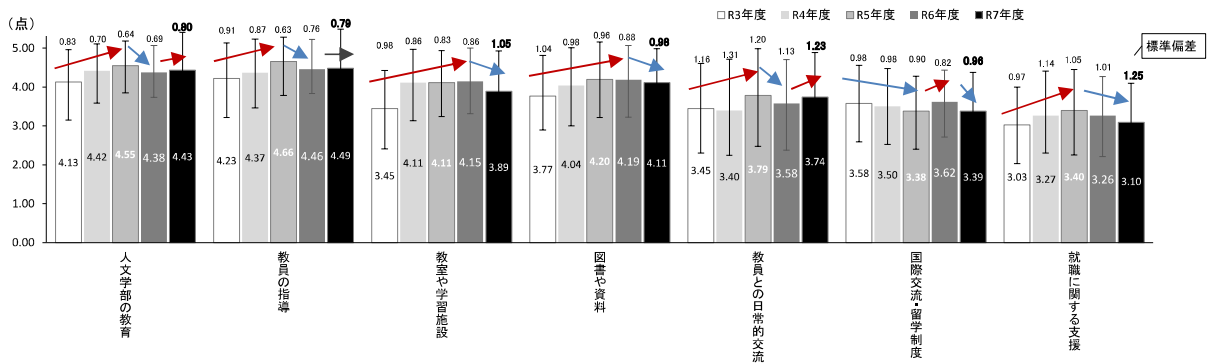
#### アンケート上の表現との対応

- 人文学部の教育：人文学部の教育に満足できた
- 教員の指導：教員の指導は十分であった
- 教育や学習施設：教育や学習施設に満足できた
- 図書や資料：図書や資料に満足できた
- 教員との日常的交流：教員との日常的交流があった
- 国際交流・留学制度：国際交流・留学制度は充実していた
- 就職に関する支援：就職に関する支援に満足できた

## 人文学部の教育内容等に関する評価 《得点化》《経年比較》

質問番号3：人文学部の評価に関する以下の項目は、あなた自身にとって、どのくらいあてはまりますか。《単数回答》

- 「あてはまる」を5点満点とする得点に関しては、令和5年度まで「国際交流・留学制度」を除く全ての項目において上昇していたが、令和6年度、令和7年度といずれも下降もしくは横ばいとなっている。一方で、「教員との日常的交流」は直近5年間で比較すると上昇している。
- 標準偏差については、例年と同様に、「教員との日常的交流」「就職に関する支援」が大きく、「人文学部の教育」「教員の指導」が小さくなっている。



※「あてはまる」を5点、「ややあてはまる」を4点、「どちらでもない」を3点、「あまりあてはまらない」を2点、「あてはまらない」を1点として得点化した。

### アンケート上の表現との対応（再掲）

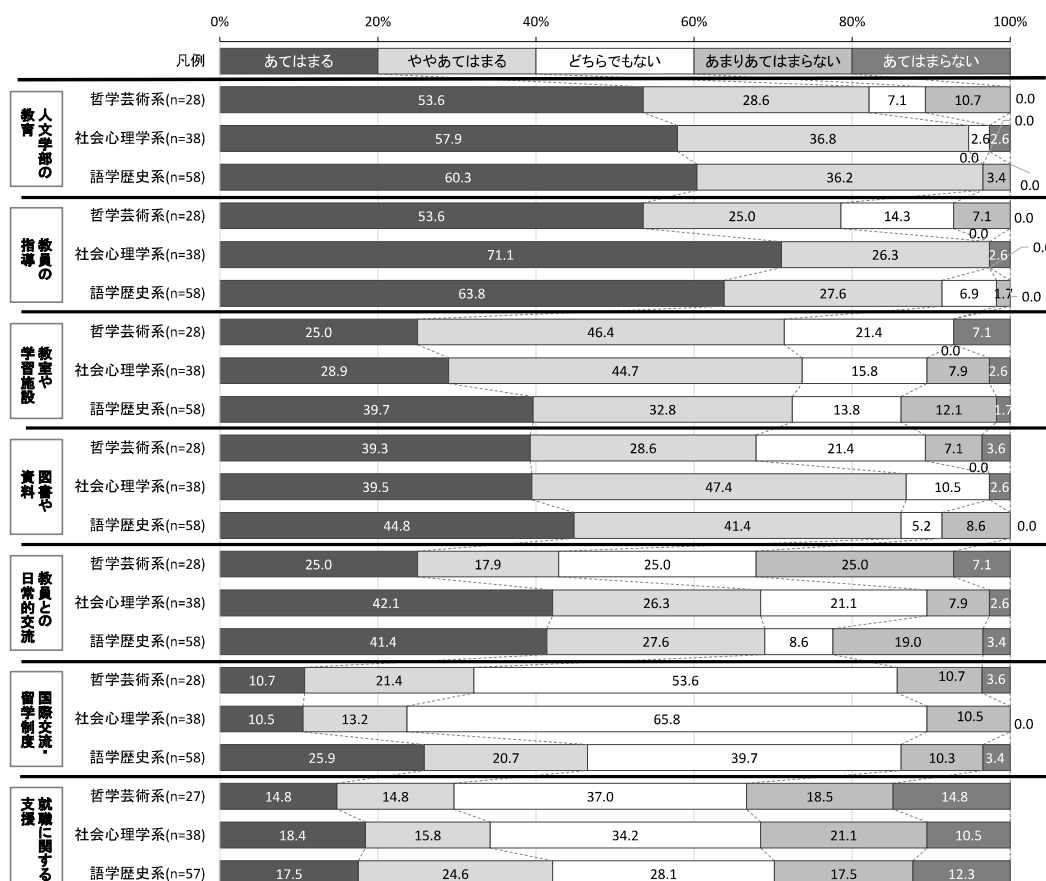
- ・人文学部の教育：人文学部の教育に満足できた
- ・教員の指導：教員の指導は十分であった
- ・教育や学習施設：教育や学習施設に満足できた
- ・図書や資料：図書や資料に満足できた
- ・教員との日常的交流：教員との日常的交流があった
- ・国際交流・留学制度：国際交流・留学制度は充実していた
- ・就職に関する支援：就職に関する支援に満足できた

## 所属分野ごとの教育目標の達成状況 《クロス集計》

質問番号1：あなたの所属コースをお答えください。 《単数回答》

質問番号3：人文学部の評価に関する以下の項目は、あなた自身にとって、どのくらいあてはまりますか。 《単数回答》

- ・「人文学部の教育」について「あてはまる」の合計は、所属コース間の得点の偏りはあまりみられない。
- ・「教員の指導」について「あてはまる」は、社会心理学系が71.1ポイントと高く、最も低い哲学芸術系より17.5ポイント高い。
- ・「教室や学習施設」について「あてはまる」「ややあてはまる」の合計は、グループ間における偏りはあまりみられない。
- ・「図書や資料」について「あてはまる」「ややあてはまる」の合計は、社会心理学系が86.9ポイントと最も高く、最も低い哲学芸術系より19.0ポイント高い。
- ・「教員との日常的交流」について「あてはまる」は、社会心理学系が42.1ポイントと最も高く、最も低い哲学芸術系より17.1ポイント高い。
- ・「国際交流・留学制度」について「あてはまる」「ややあてはまる」の合計は、語学歴史系が46.6ポイントと最も高く、最も低い社会心理学系より22.9ポイント高い。
- ・「就職に関する支援」について、グループ間における得点の偏りはあまりみられない。



### アンケート上の表現との対応（再掲）

・「人文学部の教育」：人文学部の教育に満足できた・「教員の指導」：教員の指導は十分であった・「教育や学習施設」：教育や学習施設に満足できた・「図書や資料」：図書や資料に満足できた・「教員との日常的交流」：教員との日常的交流があった・「国際交流・留学制度」：国際交流・留学制度は充実していた・「就職に関する支援」：就職に関する支援に満足できた

## (4) 在籍中に経験した国際交流・留学/取得した資格

### 在籍中に経験した国際交流・留学/取得した資格 《経年比較》

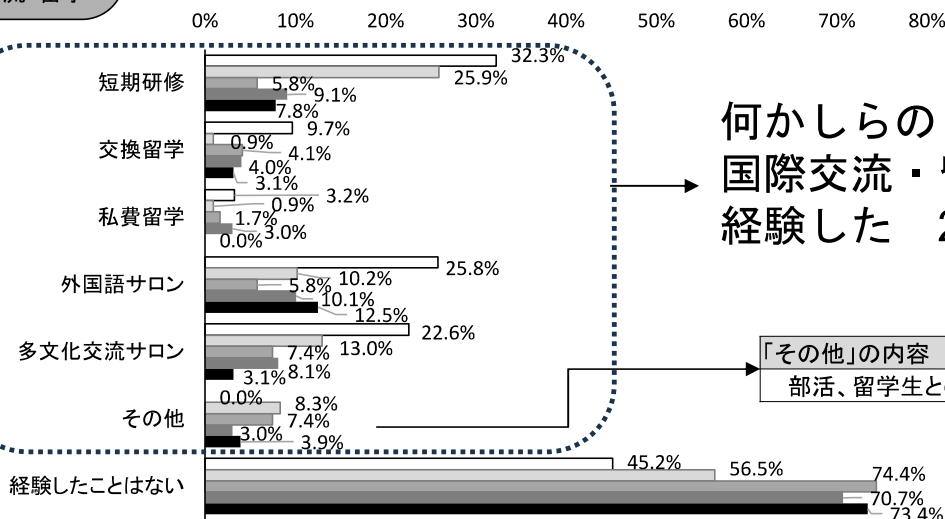
質問番号4：人文学部に在籍中、あなたが経験した国際交流・留学はありましたか。《複数回答》

質問番号5：人文学部に在籍中、あなたが取得した資格はありましたか。《複数回答》

- 経験した国際交流・留学は、「外国語サロン」を直近5年間で最も低い令和5年度と比較すると、4.3ポイントの増加がみられ、「多文化交流サロン」は直近5年間で継続的な低下がみられる。それ以外の項目において令和3年度をピークに令和4年度～令和5年度にかけて低下傾向にあり、令和5年度から令和7年度にかけて、横ばいとなっている。
- 取得した資格は、「公認心理師受験資格」を除いた4つの項目がすべて増加傾向にある。「取得したことがない」の回答割合は令和3年度からの5年間で最も低い。

#### 在籍中に経験した 国際交流・留学

□ R3年度(n=31) □ R4年度(n=108) ■ R5年度(n=121) ■ R6年度(n=99) ■ R7年度(n=128)

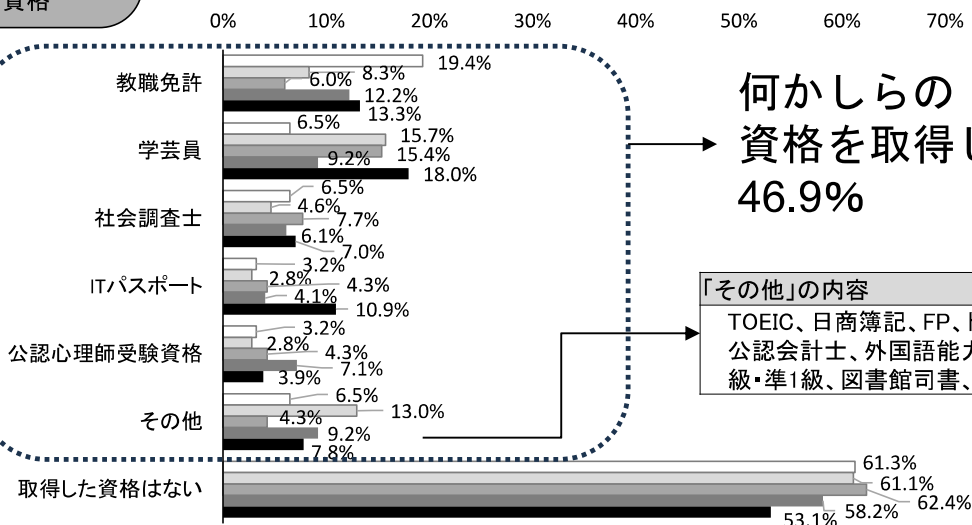


何かしらの  
国際交流・留学を  
経験した 26.6%

「その他」の内容  
部活、留学生との交流など

#### 在籍中に取得した 資格

□ R3年度(n=31) □ R4年度(n=108) ■ R5年度(n=117) ■ R6年度(n=98) ■ R7年度(n=128)



何かしらの  
資格を取得した  
46.9%

「その他」の内容  
TOEIC、日商簿記、FP、ドイツ語検定、  
公認会計士、外国語能力資格、漢検2  
級・準1級、図書館司書、など

## (5) リモート授業・ICT環境の評価

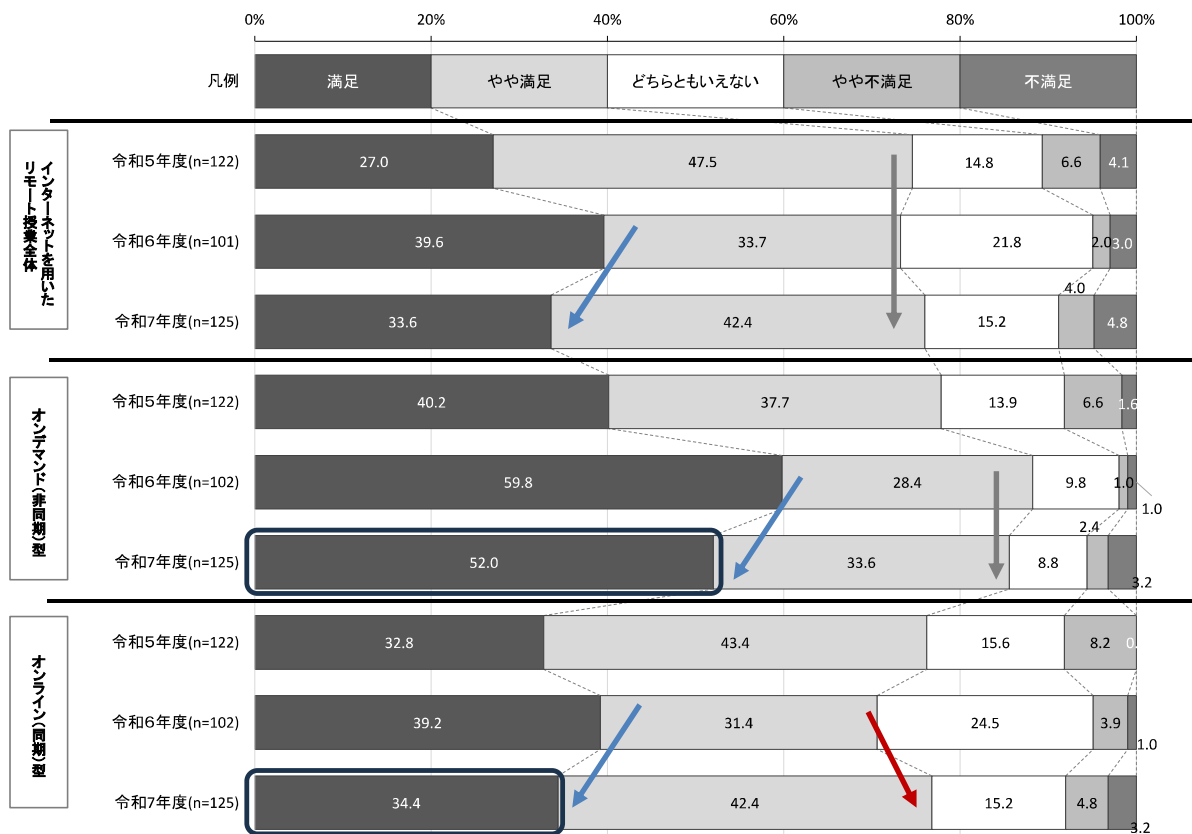
### リモート授業の評価

質問番号10：在学中に受講した人文学部のインターネットを用いたリモート授業について、全体として、あなたはどのくらい満足していますか。《単数回答》

質問番号11：在学中に受講した人文学部のリモート授業のうち、オンデマンド（非同期）型について、あなたはどのくらい満足していますか。《単数回答》

質問番号12：在学中に受講した人文学部のリモート授業のうち、オンライン（同期）型について、あなたはどのくらい満足していますか。《単数回答》

- ★在学中に受講したリモート授業の評価としては、リモート授業全体、オンデマンド（非同期）型、オンライン（同期）型のいずれも、「満足」の回答は令和6年度と比較すると低下している。
- ★リモート授業全体に対する、「満足」「やや満足」の合計は76.0ポイントと、直近2年間と横ばいである。
- ★オンデマンド（非同期）型に対する「満足」「やや満足」の合計は、令和6年度と比較してほぼ横ばいである。
- ★オンライン（同期）型に対する「満足」「やや満足」の合計は、令和6年度と比較して、上昇している。
- ★「満足」の回答は、オンデマンド（非同期）型がオンライン（同期）型に比べて17.6ポイント高い。



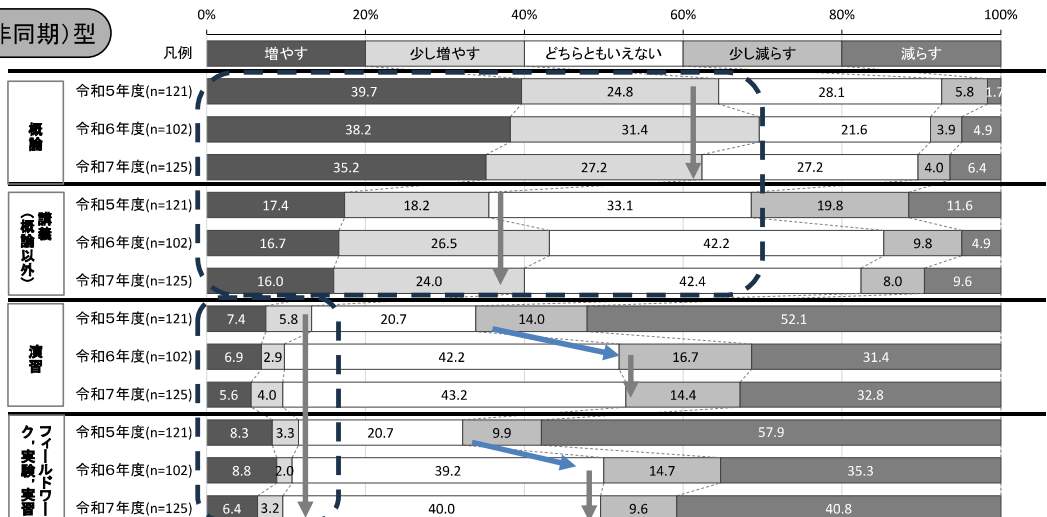
## 今後のリモート授業の回数

質問番号13：人文学部の以下の科目に対して、あなたは、オンデマンド（非同期）型を、今後、増やした方がよいと思いますか。それとも、減らした方がよいと思いますか。《単数回答》

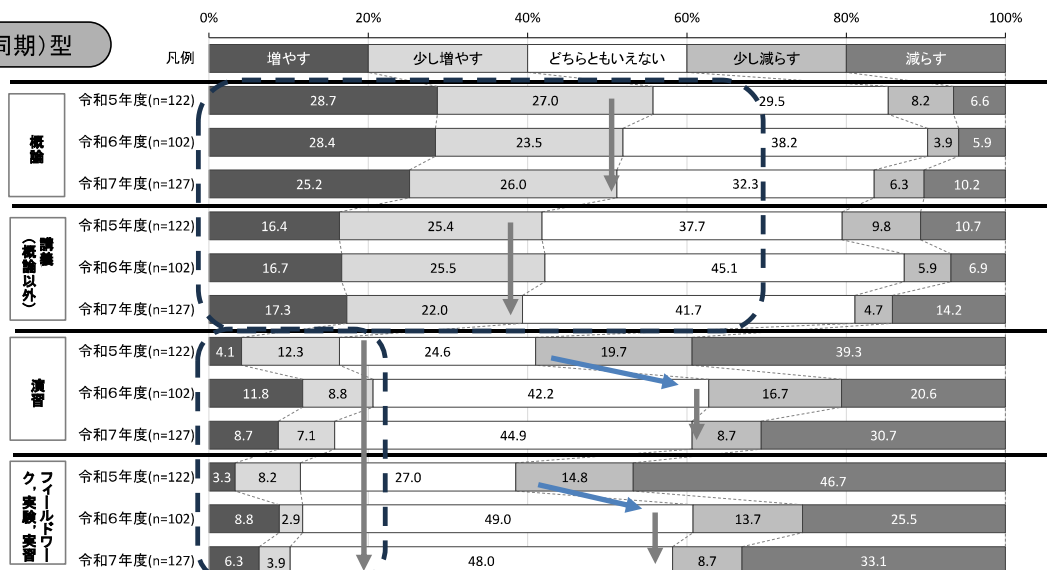
質問番号14：人文学部の以下の科目に対して、あなたは、オンライン（同期）型を、今後、増やした方がよいと思いますか。それとも、減らした方がよいと思いますか。《単数回答》

- ★今後、遠隔での授業形態を「増やす」「少し増やす」の合計は、オンデマンド（非同期）型・オンライン（同期）型ともに「概論」が62.4ポイントと最も高く、「演習」「フィールドワーク、実験、実習」が10ポイント前後と低い。
- ★遠隔での授業形態を「増やす」「少し増やす」との合計を直近3年間で比較すると、オンデマンド（非同期）型、オンライン（同期）型ともに横ばいである。
- ★「演習」「フィールドワーク、実験、実習」で遠隔での授業形態を「少し減らす」「減らす」の割合は、オンデマンド（非同期）型では約5割、オンライン（同期）型では約4割である。
- ★「演習」「フィールドワーク、実験、実習」で遠隔での授業形態を「減らす」の回答を直近3年間で比較すると、オンデマンド（非同期）型、オンライン（同期）型ともに、令和5年度に増加し、令和6年度には下降し、令和7年度は横ばいである。

### オンデマンド（非同期）型



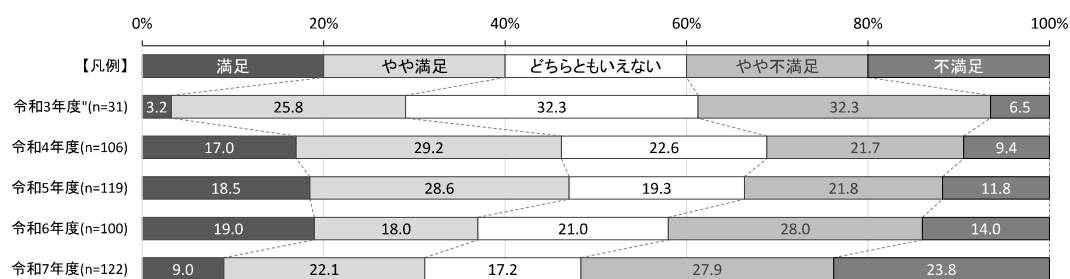
### オンライン（同期）型



## 人文学部のICT環境への満足度

質問番号16：人文学部のICT環境（Wi-Fiなどのインターネット環境を含む）について、あなたはどのくらい満足していますか。 《単一回答》

- 人文学部のICT環境についての満足度は、「満足」「やや満足」の合計は31.1ポイントである。直近5年間で最も高い令和5年度と比較すると16.0ポイント減少している。同時に「不満足」「やや不満足」の合計は直近5年間で最も高い。





### 3. 卒業生アンケート総括

---

## 調査結果の要約

### ①教育目標の達成状況について

- 「思索力」「受容力」において、その力が「十分に養われた」「やや養われた」とする割合は、9割以上と高い。その一方で、「外国語能力」においての割合は、5割であり、最も低い。
- 教育目標8項目を点数化すると、「受容力」が4.48ポイントと最も高く、「外国語能力」が3.48ポイントと最も低い。推移をみると、令和5年度までは8項目すべてにおいて上昇傾向にあったが、令和6年度以降、「開拓力」以外の7項目は下降または横ばいとなっている。

### ②人文学部の教育内容等に関する評価について

- 「人文学部の教育」に満足できた割合は9割以上と高い。その一方で、「国際交流・留学制度」「就職に関する支援」に満足できた割合は4割以下と低く、かつ直近5年間で過去最低水準になっている。
- 経年比較では、7項目の評価指標のうち、「国際交流・留学制度」を除く全ての項目において令和3年度から上昇傾向にあったが、令和6年度に下降に転じ、令和7年度は「教員との日常的交流」を除く項目は横ばい、または下降を続けている。

### ③在籍中に経験したことと取得した資格について

- 国際交流・留学を経験した割合は、「経験したことはない」とした割合を除く26.6%であり、令和5年度以降横ばいである。一方で、資格を取得した割合は、「取得した資格はない」としたポイントを除く46.9%であり、令和3年度からの5年間で最も高い。
- 経験した国際交流・留学は、項目別でみると「外国語サロン」の上昇がみられ、一方で「多文化交流サロン」は継続的な低下がみられる。「短期研修」「交換留学」「私費留学」については、令和5年度以降は横ばいとなっている。
- 取得した資格は、「教職免許」「学芸員」「社会調査士」「ITパスポート」は上昇傾向にあり、その中でも「ITパスポート」「学芸員」は過去5年間で最高の取得率となった。

### ④リモート授業・ICT 環境の評価について

- 在学中に受講したリモート授業の評価としては、リモート授業全体、オンデマンド(非同期)型、オンライン(同期)型のいずれも、「満足」とした割合は、令和6年度と比較すると低下している。一方で、リモート授業全体に対する、「満足」「やや満足」を合わせると76.0%であり、令和5年度以降横ばいである。
- 今後のオンデマンド(非同期)型・オンライン(同期)型ともに、遠隔での授業形態を「増やす」「少し増やす」は、「概論」が62.4ポイントと最も高く、「演習」「フィールドワーク、実験、実習」が10ポイント前後と低い。
- ICT環境についての満足度は、「満足」「やや満足」とした割合は合わせて31.1ポイントであり、直近5年間で最も高い令和5年度と比較すると16.0ポイント低下している。同時に「不満足」「やや不満足」としたポイントは近年で最も高い。